

# 1 地層と堆積岩

## (2) 地層ができるまで — 1 —

### ① 目標

- ・陵成中学校の地下から出てくる砂やれきは、れきが丸みを帯びていることから、川が山から運んできたことを理解する。

### ② 学習活動

【質問】 陵成中学校の地下を20mまで掘っていくと、何が出てくるとおもいますか。

- ・れき(円れき、亜円れき)、砂、シルト
  - ・ボーリング資料(印刷物)を配布し、ボーリング資料(サンプル)を見せる。
  - ・柱状図の説明をする。
  - ・れき、砂、シルト、粘土とその粒径について説明する。
- ※円れき、亜円れきに注目させ、なぜ、丸いれきが出てくるのかを考えさせる。  
れきの角の取れ具合の資料を示す。

【課題】 陵成中学校の地下にある砂やれきは、何がどこから運んできたとおもいますか。「桑名の地層と地史」「桑名丘陵地地質図」から、読み取りましょう。

#### ※地質図の説明

地質図: 地表がどんな地層におおわれているかを表現した地図

#### 【科学の答え】

陵成中学校の地下にある砂れきは、川が木曾川上流から運んできた。

#### 【先生の話1】

陵成中学校は暮明層の上にある。暮明層は東海湖の湖底で堆積した。

暮明層には濃飛流紋岩が堆積していることから、木曾川上流から東海湖に流されてきた。

以上のことから

木曾川上流から流されてきた砂れきが、東海湖の湖底に堆積した。

その後、土地(湖底)が隆起して現在の丘陵地になった。

※土地の隆起については、後で学習する。

【質問1】 陵成中学校の地下にある砂やれきが堆積した頃、陵成中学校の土地はどんな状況だったでしょうか。

【質問2】 光陵中学校の土地についてはどうでしょうか。

質問1 東海湖の湖底だった。

質問2 東海湖の湖底だった。